

## 「 会社人としてのあり方と私の会社生活 」 レポートのまとめ

- \* 提出期限 : 2006 年 11 月 07 / 08 日
- \* 提出者 : 21 / 54 名 ( 39 % ) - 低過ぎる。自分のために真剣に考えること。
- \* 添付資料を参考にして、論文形式で記載。

### \* 課題 : 「 会社人としてのあり方と私の会社生活 」

#### ● テーマの内容説明 :

- 下記の資料を参考にして、「 会社人としてのあり方とは何か 」を考えて書き、また、それを基にして、「 自分は会社でどんな行動をとるべきか、自分の会社生活をどうすべきか 」を、現時点で考える。

#### - 参考資料 :

- \* 参考語録 - M : 資料「 論文 - 8 - 2 」参照 - 会社業務のあり方
- \* 会社人としてあり方 : 資料「 論文 - 8 - 3 」参照

#### ● 記載内容 : 論文形式で記載する

- 序論 : テーマについて、何を書きたいかを、簡潔明瞭に記載する。
- 本論 : 添付資料を参考し、序論の詳細な内容について自分の考えを説明する。
- 結論 : 1) まとめ : 本論の簡単なまとめ  
2) 今後の課題 : 自分が書いた内容を会社で実施して行くためには、残り少ない今後の大学生活で、何をすべきか、どんな課題があるか、また、今回書かなかった他に検討すべき事項 等々の記載。
- 参考文献 : 上記やその他読んだ参考資料の題名、著作者名、発行元 等。

#### ● この課題の目的 :

- 会社人としてのあり方や会社での業務のあり方を、自分で考える : 思考能力
- 種々資料の内容をまとめて、これらを参考にして自分の考えを書く論文作成の練習

論文とは、テーマについて、種々資料を参考にして、「 自分の考え 」を書く事

「 自分で考えること 」を習慣付ける事。考えれば、人生が楽しくなる

自分にとって、「 大学とは、大学生活とは何であったか 」を、自己認識する事

## 1. レポートの内容の紹介 :

- \* 論文形式で書いたレポートの「本論」の内容は、配布した資料の内容と同じものが多かったのですが、今回のまとめの内容は、「結論」の文章を主に紹介している。提出した21名全員分の紹介である。
- もし自分が他人に信頼される、頼られる会社人になりたい為には、色々な注意点があります。約束厳守、時間厳守、期限厳守は基本的で、重要な事。そして話し方、言葉遣いには気をつけます。特に目上の人、上司、顧客、他人への敬語の使い方を注意します。定期的に、必要時、確実に「ほうれんそう（報連相）」が重要なことです。全ての業務に、PDCAを迅速に確実に回転させます。これらに加えて、他人の良いところを真似、利用や活用をせよ。逆に、他人の石も考えます。相手の話すことをよく聞き、理解します。会社人として、自分に厳しく要求することが多い。しかし、平常注意していれば、会社で同僚と良い関係になり、仕事をするのが容易になります。
- 一、 1. 言語行動 2. 人間関係 3. 個人態度 4. 個人理念 これらは会社人として考える必要がある問題である。  
二、また、書きたいのは今後のことである。親と先生と学生の意見をよく聞き、何が良くて何が悪いかを考え、学生としてのあり方も認識し、色々なことを習慣つけて、正解な道に沿って生きていく。
- 将来、いい会社に入るために、今から行動して、自分の行為を直さなければならない。まず、人とのコミュニケーション力を培うことは重要だと思う。これには、課外活動に参加し、色々な経験になる。今の専門は物流管理で、日本語も出来るので、将来は日本の物流会社に入りたい。だから、専門知識を身に付けることは重要だ。何でもやる前に、計画を制定し、計画に従って実行する。自分の将来を考えて、現在の大学生活のあり方を見直して、改善して行く。
- 課外の時に、アルバイトをして将来のための経験を積重ねて行き、団結精神を養い、言葉遣いに注意し、コミュニケーション力を上達したい。合格した会社の社員としての種々の要求のために、今後私は多く自分の能力を育成して、未来計画を制定して、将来の仕事のために十分な準備をする。
- 私は大学に入学してから2年間学んで来ましたが、将来、合格した会社で立派な会社人になるために、これからも、色々な知識を勉強するだけでなく、団結精神を学びます。様々なアルバイトをして、自分の社会経験を積重ね、強固な意志を育てます。コミュニケーション力を上達させます。以前の幼稚な子供から聞き分けが良い青年になります。
- この2年間に、私は色々な知識を得ました。今後の大学生活では、日本語の勉強や物流の学習に努力して行きたい。将来は会社員になりたい。今後の学習の中で、私は一層多方面の育成を重視し、今後の仕事のために準備します。
- 私は今大学で物流と日本語を学んでいるが、将来は日本の会社で働くつもりです。従って、会社人としてのあり方を考えてみると、色々なことを思い知らされました。下記は、資料の中からの私の納得したことです。今後の大学生活で、何をすべきか、どんな課題があるかを考えることは、大切なことである。
  1. 全ての始まりは「あいさつ」
  2. 素直な気持で ---
  3. 話し方、言葉遣いには気をつけて
  4. 何事にも誠意 ---
  5. 自己理念、自己方針 ---
  6. 何事にも興味 ---
  7. 決めた事、--- 確実に実行
  8. 感受性が大事
  9. 相手の話す事を理解 ---
  10. メールには必ず返信
  11. 他人の情報を信じるが自分の目で
  12. 質問の回答は「Yes or No」
  13. 計画には日程 ---
  14. 過去を知り、----
  15. 時間感覚、時間管理
  16. 自分の責任業務と皆で協力する仕事の区分
  17. 信念を持って主張
  18. 将来の事を考え今から計画
  19. まとめ、反省、今後の計画で再スタート
  20. 会社生活を楽しく、みんなに感謝。
- 私は大学で物流を学んでいますが、卒業後会社に入る。従って、会社人としてのあり方を色々知りました。今後の大学生活で、資料の中から選んだ10箇条を実施し、今からいい習慣を身につけるように、一生懸命に努力する。(10箇条は、上記の20の中と同じ項目)。
- 私は将来日本の会社で働くつもりなので、今から会社人としてのあり方と私の会社生活について、色々自分で考えて行きたい。参考資料の中の10点は、私にとって大切な課題であるので、今から明確な方向へ進んで行かなければならない。(10点は、上記と同じ内容である)。

- 将来私は日本の物流会社に入りたいです。もし入れなかったら、国内の物流会社でもいいと思います。どちらを問わず、専門知識と言語は重要なものです。従って、時間感覚を持って、計画的に日本語の学習に努力して、どんな困難にも挫けない強靱な精神を築く準備をして行く。その他、課外の時に、アルバイトをして将来のための経験を積重ねて、団結精神を養い、言葉遣いに注意し、コミュニケーション力を上達したいです。
- チャレンジ精神にあふれ、会社の将来を担うハイパーフォーマー。  
三自の精神（自発、自治、自覚）を入社後に発揮出来る人。今後、私は一生懸命に日本語を勉強して、物流の知識を勉強します。日本へ留学することが希望です。日本の企業では多くの外国人が働いていると聞いているが、我々一般の留学生にはまず入社チャンスはないと思います。日本企業のほとんどは、各国のエリート大学新卒者を選び、日本語力の流暢さを希望しているからです。将来日本の会社で働くつもりです。そして、機会があったら、自分で会社を作りたいと思っています。一生懸命知識を勉強して、社会経験を積んで、社会活動に多く参加します。しっかりした人生設計を作り、夢、希望、目標を具体化して行動する。
- \* 感度、速度、精度、特に感度が重要、これが行動のスタートになるから。  
\* 常に将来の事を考えて、今から計画、行動しておく。夢でもいい、やりたい事を考えれば、楽しい。過去は過ぎ去り、今は進行中で変化がない、将来は色々な変化の可能性があり、自分でつかもう。
- 会社人としてのあり方は色々なことがあります。会社で私は自分を管理して、目標を設定して、一生懸命に働くことが重要です。今後、残りの大学生活で日本語と専門学科を、一生懸命に勉強して行くと思います。また、自分の人生目標を確立し、この目標の実現のために努力します。将来のための経験を積重ねるために、アルバイトをしたいです。会社に入るために準備することは重要です。
- 残り時間は少なくなり、今後は次の三つの方面に精々努め、将来立派な会社人になりたいです。
  - \* 自分のための時間を持つ。
  - \* 自覚。
  - \* ビジネスマナーに注意
- 1. 目標があるべきだと思う。  
会社に入っても大部分の大学生は何をするかを知らない、どのようにするかも知れない。専門や趣味に対応することが出来て、あなたの目標を確定する。
- 2. 永遠に満たさない。  
社会の競争力はますます大きくなって、優秀な人材が次々と出て来る。あなたはもう満たしていたら、努力しないために向上しないので、わずか数年で他人に取り残されてしまう。
- 3. 永遠に学習を忘れてはいけない。  
もし積極的に向上したい青年ならば、自分の人生目標を持って学習をし続けていると思う。本は知識の海洋で、人類の進歩的な階段だ。
- 会社人としてのあり方は、色々あります。配布された「会社人としてのあり方」と「会社業務のあり方」の種々項目を参考にして、自分の身に付けたいと思う。私は大学生として、日本語を勉強しています。将来には日系会社で働きたい。従って、日本の会社の礼儀と働く方法を勉強しなければなりません。PDCAが一番重要である。私の会社生活は楽しく、忙しいと思います。
- 会社人として目標を設定するとか、現実を考えると、仕事を計画するなどが一番重要なことだと思います。礼儀や行儀正しくすることや話し方、言葉遣いには気をつけることや他人のよいところを真似、利用や活用するなどのことも重要です。その他、資料にある多くの項目の内容を身に付けて、会社業務を遂行することです。考え方として、過去を知り、現状を把握し、将来を考える習慣をつけて、相手への思いやり、感謝の気持を持って他人に伝えれば、他人は私をいつでも援助してくれて、仕事を皆で協力してうまく行くかも知れません。
- 会社人としてのあり方については、礼儀正しく、他人のよいところを活用、自己理念や自己方針や自己目標を持ってその実行計画を立てて実施に努力、興味関心好奇心を持ちトライやチャレンジ、上司や部下とのコミュニケーションが重要、問題意識を持ち、相手の話すことも理解、成功を収めるタイムマネージャーは、全ては規律次第だということを理解している。
- 会社人としてのあり方は色々ある。話し方、言葉遣いには気を付ける。多くの会社の経営理念には「創造、挑戦、調和、信頼」等があり、個人も同じである。何事にも誠意を持って一生懸命にやる。全ての業務にPDCAを迅速に回転させる。会社生活では目標を設定し計画を立てる。その他、配布された資料の種々項目の内容を身に付けて行くことが重要と考える。行動のない計画は白昼夢であり、計画のない行動は悪夢であると考え、私は全てに計画を立て、実行すること、PDCAの回転を実施する。

- 今、三年生としての私、後1年間位で会社人になるために、会社人としてのあり方と私の会社生活を考えるべきです。業務の基本としての「PDCA」を全ての業務に迅速に確実に回転させる。仕事をしている場合、素直な気持で、礼儀や行儀正しく、明るく、皆に付き合う、何事にも誠意を持って、確実に一生懸命にやる。「報連相」、相手の話すことをよく聞き、理解する。責任と協調の認識。その他、配布された資料の中の項目の内容を身に付けて、日々の活動に活用する。まとめとして、過去を知り、現状を把握し、将来を考えると概括します。現在の大学在学中に、専門知識をなるべく身に付けなければならないと思う。将来日系会社に入りたいと思いますが、いま、日系会社のマナーを身に付けなければなりません。これは専門知識と同じ日系会社に入る時の欠くことの出来ない前提だと思えます。
- 会社は「利潤の追求を目的とする経済活動を行うための組織」である。この目的を達成するために、会社は最も合理的な制度が行われる。職場生活の第一歩は、会社のルールを正しく理解することから始まる。基本のルールは、就業規則に規定されている。まず会社に入ったら就業規則を熟読することである。就業規則には、勤務時間や休憩、賃金や福利厚生、表彰や罰則に関する事項が載っている。これらの内容をよく確認しておこう。会社には、就業規則の他にも諸規定が成文化されてある。文書化されている諸規定は絶対に守らなければならないものと心得よう。暗黙のルールも無視出来ない。会社には、成文化されたルールの他に、慣習によって成り立っている約束事項がある。文書化されてはいないけれども、それを守らなければ職場になじむことが出来ない社風や職場の慣行、しきたり等だ。文書化されていなかったからと言って、こうした暗黙のルールは無視出来ない。中にはおかしいと思われるものもあるが、なぜそうした暗黙のルールが出来たかを考えてみるとよい。変えるのは、それからでも遅くはない。職場のルールは、お互いに勝手な行動をしてチームワークを乱さないようにするために出来上がったものと言える。リーダーの指示に従い、自らの役割を果たし、みんなと協力して仕事を進める。この当り前の行動をとれるようにすることが、会社人としての基本のルールと言えよう。その他、下記も重要である。
  - \* 休暇、遅刻、早退の取得マナー。
  - \* 他人を頼らずに、自分の力で役割を果たす努力をしたい。
  - \* 与えられた仕事を確実にこなすだけでなく、自分から仕事を探すことも必要である。
  - \* 仕事は、正しく、早く、安全に(安く)、楽に出来なければならない(「正早安楽」と覚える)。
  - \* 新社会人は前向きの姿勢、やる気が評価されることを忘れない。
  - \* 目的意識を持って仕事をする。
  - \* 職場生活は、チームワークである。一人だけ勝手なことをしては、まわりが迷惑する。次の点に注意して、チームワークよく仕事をしよう。
    - 自分の力を過信しない。実力は自然に見えてくるもの。自慢したり、他人を小バカにした態度は見苦しい。
    - 上司や先輩に対する態度は謙虚さが必要。教えられる立場であることを忘れない。
    - 自分の意見、考えを持ち、はっきりと発言することは大切であるが、それを相手に押し付けたり、受け入れられなかったからと言ってすねたりしない。
    - たとえ雑用であっても、手抜きをせず真剣に取り組む。仕事の価値は全体の中で判断。優れた会社員になることは難しいと思いますが、今後の大学生活では必死に勉強しようと思えます。

## 2. コメント :

- 提出者が少ない。**未提出者は、将来の会社人としては問題である**。自分の為にも書くべきである。
- 参考資料の内容をそのまま写しているのが多い。これでもよい内容もあるが、出来るだけ「**自分の文章で書く**」習慣を身に付けることが大事である。これには、参考内容を充分理解した上で、この内容を自分の文章で表現したり、自分の考えも付け加えることである。常に、これを実施することである。
- 提出した21名のレポート内容は素晴らしい。自分で考えて書いたからである。
- 大事な事は、自分のレポートの他に、「**他人のレポートの内容を参考、活用**」してほしい。レポートのまとめのこの資料の目的の一つは、このために皆の考えの紹介である。
- **最後のレポートの内容は、参考資料にはないもので、素晴らしい内容である。この内容は「会社人としてのあり方」の最も基本的な重要な内容である**ことを認識していただきたい。

今後の長い人生での会社生活は、自らの考えでの「会社人としてのあり方」の実践である